

次世代シーケンサーを用いた臨床検体中の病原ウイルスの探索

○研究期間

令和5年8月から令和7年3月まで

○試料・情報の管理について責任を有する者（研究責任者）

福岡市保健環境研究所保健科学課主任研究員 宮本道彦

○試料・情報の利用目的

次世代シーケンサーを用いた迅速かつ網羅的に病原ウイルスを探索する検査法により、感染症対策の一助とすることを目的とするもの。

○試料・情報の利用方法

- ・感染症発生動向調査並びに市内で発生した食中毒及び保育園における胃腸炎事例（以下、「感染症発生動向調査等」という。）において、ウイルス分離又はPCRで病原ウイルスが検出された検体を用いて、次世代シーケンサーを用いた検査法の検証を行う。
- ・感染症発生動向調査等において、病原ウイルスが検出されなかった検体を用いて、次世代シーケンサーを用いた検査法により病原ウイルスの探索を行う。

○利用する試料・情報の項目

試料：平成30年度以降に感染症発生動向調査等の対象者となり、採取された検体。

情報：診断名、検体種別及び検査結果

当該研究において、外部への試料、情報の提供はありません。ご提供いただきました情報は、ご提供者が特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。

○利用を開始する予定日

令和5年8月

○利用する者の範囲

研究期間中に福岡市保健環境研究所保健科学課ウイルス担当に在籍する職員

○試料・情報の利用の停止について

研究対象者であることが確認できた場合、試料・情報の利用を停止します。試料・情報の利用の停止を求める場合は、下記にご連絡ください。

連絡先

福岡市保健医療局保健環境研究所保健科学課ウイルス担当

電話番号：092-831-0683

ファクス番号：092-831-0726